

1 楽しかったこと・盛り上がったこと

今回は、天候の関係で参加者は例年より少なかったが、今回本格的に実施した地元農産物の市場が大変好評だった。また次回以降の開催内容に新たなヒントを得ることができた

・丹後地方では秋祭りが目白押しで集客に苦慮。新型インフルエンザの影響で実施が出来ただけでも幸運。アートのコラボは初めてで意義深い。参加者は地元の方が主でした。
・丹後の知られざるヴァイオリン文化を紹介できたこと。(かつて丹後で製作されたヴァイオリンの展示と丹後の職人によるヴァイオリンの演奏)。楽器製作と文化の育成の趣旨に賛同した地元の陶芸、木工作家にも出展の機会が与えられたと喜ばれ、これを契機に、その後同じような企画が実施できた。

前夜の街づくり講演会、後日の報道効果により、一気にこの事業が認知され、皆さまから熱い視線と大きな期待を感じた

・博覧会後の集客予約が120団体3600人程の手配が入っている。
・ツーリズムは大手旅行社が数社参加送客したい
・文化祭は評判が良く、今後も開催することにより多くの方に認知されると思われる。
・一団体ではできないことが、皆が集まることによって新たな活動ができた。

前夜の街づくり講演会、後日の報道効果により、一気にこの事業が認知され、皆さまから熱い視線と大きな期待を感じた

日本の伝統文化を地域に広められた。

情報発信の大切さ、ならびに、きめ細やかな運営の必要性を実感した。

いろいろな方と知り合える機会ができたことは大変良かったと思う。体験においては、少し料金が高かったように思う。

仲間の結束強くなり、今後の活動の大きな力になると実感した。仲間の輪が広がって、信頼関係が深まったのは、イベントを通し活動を共にしていく過程だった。今後は、余裕を持って準備し、より良いプランを提供していけたらと話合っています。
予想以上に体感ツーリズムや地域力文化祭では、人が多くてびっくりした。地域力文化祭では、充実感をおぼえて会場を後にした。

今後の取組の参考になった。

パンフレットに掲載してもらったが、残念ながら参加者は0でした。

他団体との交流ができた。
地域力文化祭では、団体スタッフもよい体験ができ有りがたかった。全体として広報協力をする事で、他団体の取組をじかに拝見できたことが、とてもよかった。

企画は成功であったが、あと50人は来場者を集めたかった。来場者のうち、45人前後の方と一緒に交流することができた。

冊子に掲載いただいたこともあり、たくさんの来場者があり、また来場者に楽しんで頂くことができた。

過去までは参加型(名刺づくりや絵画の作品展)であったが、本年新たに体験加え参加者同士の感想交流などを行い大いに盛り上がった。

いろいろな地域で頑張っておられる皆さんの姿を目のあたりに出来たことが良い刺激だった

新たな連携ができた。またターゲット層も広がった

イベントに関しては文化祭での広報効果あり。去年の筏流しを新聞などで知り、今年の開催を知っていたき、実際に写真撮影に来て下さる方がいた。

クリスマス会を開催しました。記念写真を撮ろう！、スタッフによるハンドベルの演奏、女性デュオによるコンサート、サンタさんからのプレゼントなど大人も子どもも楽しめる内容で、約120人の親子が参加してくれました。

開館3周年発表には、会場に入りきれない位(約100人)が駆けつけて下さった。

広く広報ができ、他活動団体との交流ができて、楽しかった。同じ思いで地域を盛り上げようと頑張っておられる方々の多さに元気をもらえた。

従来のと取組に加えて新しいプランとして企画した他活動団体との連携が生まれた。京都市内の方の申込があったということが、来年度に明るさが見えたと判断、来年に生きてくるのでは。広く府下に本会の存在をPRできた。ツーリズムの料金高い。

他地域の活動内容を知ったり、今日に至るまでの苦労を聞いたりして、今後の活動の励みになった

昼なお暗い放置竹林を間伐整備しての竹林コンサートを開いた。今年初めて参加した近所の主婦が「恐ろしげで近づけなかった竹林に入ってみて良かった。音楽もよかったけれど、明るくなって散歩できるようになり、コンサート会場では胸がいっぱいになった」と言ったことが印象的だ。

会が16年間継続してきた「竹遊びイベント」を長岡京市のボランティア15団体の協働で地域力再生交付金を頂いて継承できました。間伐竹材の有効利用活用のPRができました。

NPO法人としての活動意識が、会員の人達にも少しは理解していただけたことが良かったです。

子どもを中心としたイベントを開催した。例年よりも参加者が多く大盛況でした。

女性のパワーと元気！最高に楽しかったです。

料理教室や野草の説明など、大変喜んで頂けてよかった。

ツーリズムの企画で府内の情報が一覧できたことは将来につながる。地域力文化祭では、会員の意識が高まった。また会場では府内の多くの団体と一緒にチラシを配ったり、PRしたりすることはめったになかったのも、とてもよい刺激になった。新しい交流につながり、地域活性化へのステップとなった。

広報ができたこと。但し、特に地元商店街ほどの程度広報ができていたかを、もう少し掘り下げたい。

自分たちの活動だけでなく、地域で様々な活動をしている方々と知り合うことができ、連携をとっていくことの可能性を感じた。

- ・ツーリズムでは集客の難しさを知った。
- ・文化祭では、什器・備品類の経費負担により出品種類・数量が限定される
- ・リレー塾参加者と集客や推進体制の課題を共有できた

人脈が広がった。商品開発の認知が広がった。「私たちもこんなことができる」という自身と達成感ももらった。

ツーリズムに関しては、時期・内容等が不十分で実施できなかったことは残念。一連の事業として、企画と内容がうまくかみ合わなかった面もあり全体像として参加しなかった。個々の取組はずばらしいものであるが、ネットワーク連携が本年も場合うまくいかなかった。

府民の意識を高める為にはあらゆる広報活動が必要と感じました。会場がもう少し広いと良かった。少々疲れました。企画と会場設営をして頂いた方は大変だったと思います。有難うございました。

今年度は特に参加者が増えたことで、イモ苗植えや竹炭づくり等がにぎやかに盛り上がる農漁村体験イベントになった

地域力文化祭は、場所よし、会場よしで、出展させていただいて有意義であった。私側では、準備段階での販売ブースのレイアウトを練れたことや加工品の再考が出来たこと。当日では、メインステージの催しを楽しく見ながら、多くのお客様との対面販売ができたことが、なによりの収穫でした。

新しい取組ができ、やれば出来るという達成感を味わうことができました。

他地域や団体との交流が深まった。団体メンバーとそれぞれの視野が広がり、またそれぞれの特性が発揮できた。今後の活動の参考になった。

既にパンフレットが発行されていたので、掲載に間にあわなかったが、それでも京北地域で300人の集客ができたのは、府HPの掲載が後押ししてくれたのかもしれない。

- ・都会の子どもの参加者とのふれあいが良かった。ツーリズムの後も何度もゲストハウスを訪れてくれるようになり。そのご家族のお知り合いのを連れてきてくれるようになり人も物も広がった。また参加者の中から「次の企画の提案」が出されそれが人気ワークショップになりつつある。
- ・ゲストハウスに設置予定していた全てのハードが揃い、参加者を集う際のソフトの組み方に不自由なくなり、20~30人程の参加者ならHP上の呼びかけで簡単に集められるようになった。
- ・手ばなしでこの地域文化祭への出展の成果を喜びたい。自分の活動の有形、無形の財産がこの文化祭から生まれた。「継続は力なり」。単発で終わらせること無く、続けてもらいたい。